



# 絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No.12

令和7年6月11日

文責：校長（菊池）

## 岩手の歴史と風土、文化を知る

1学年は、5月28日（水）に「岩手県立博物館で岩手の郷土や歴史を学び、今後の郷土学習の見通しを立てる。」等をねらいとし、スローガンを「Unity～統一・団結・結束～」を設定して盛岡校外学習を実施してきました。

### 【内容】

岩手県立博物館見学＜映像プログラム「岩手の文化財」視聴、解説付き見学、自由見学＞

昼食＜御所湖広域公園＞

盛岡手作り村ものづくり体験＜陶器、陶器（マグカップ）絵付け、陶器絵付け（ごはん茶碗）

藍染（バンダナ）、竹細工小物入れ＞



### 【岩手県立博物館の見学で】

＜映像プログラム「岩手の文化財」を視聴して＞

- ・毘沙門天立像が473.3cmで日本一の高さの像だとびっくりした。毘沙門天は二人の鬼をしたがえ、大地の神に支えられてすごいと思った。（藤井香菜美さん）
- ・縄文時代の遮光器土偶や配石遺構、土偶頭部など縄文時代に作られたものが分かりました。平泉のものでは、金色堂と文殊菩薩について知りました。江戸時代では無刑録をつくり、それが刑が無くても犯罪が発生しない理想を求めたものというのをはじめて知った。（藤原優太さん）

＜解説付き見学＞

- ・いろいろな化石について知ることができた。私は、アンモナイトがもう少し知りたいと思った。アンモナイトは一閃で見つかった最古の生きていた生物の化石。見た目はかたつむりのからみたいなのをしている。アンモナイトの化石は世界中でたくさん見つかっていて、いろいろな形や模様をもったものがいたことが分かった。（照井香帆さん）
- ・解説や見学をして、昔の物にわらや鉄が使われているということがよく分かった。特に印象に残ったのは、農家の様子を見学した時に家の作りが考えられていると思った。昔の人は、馬を大切にしていたため、馬が家の中から見れるような作りになっていることを初めて知った。そして、熊堂古墳群で

蕨手刀が発見され、その場所は花巻市の熊野神社だということが分かった。その他にもたくさんの品物が発見されたということが分かった。(高橋愛珠さん)

#### <自由見学>

・チャグチャグ馬コはもともと旧暦5月5日に農家が馬を引いて、各地の蒼前神社に参拝する風習だった。現在では、滝沢市蒼前神社から盛岡八幡宮までパレードするようになった。チャグチャグとは、馬に飾りを付けた鈴が鳴る音を表している。チャグチャグ馬コは歴史があり、すごいと思った。

(畠山祐季さん)

・明治23年(1890年)に、岩手の盛岡から東京の上野間が開業し、岩手県内をはじめて鉄道が通った。翌年には、青森までの東北全線が開業された。開通当時は盛岡・上野間は直通列車がなかったため、仙台に1泊して乗り継いでいた。翌年に直通列車が走り、たった1日で移動できるようになった。切符は盛岡－上野間で3円28銭。(中村優莉子さん)



#### 【盛岡手作り村のものづくり体験で】

・(陶器絵付け) 曲面にうまく絵を描くのが難しかった。下書きをするときも色を塗るときも持てる場所が安定しなかったので大変だったし、とても緊張した。何をどこに描くのかを考えながら楽しく製作できたので良かった。仕上がりが楽しみ。(佐々木うたさん)

・(藍染) 洗たくばさみに「田」があるのが面白くて、つけるのが楽しかった。藍染の水が葉っぱでできていたのにおどろいた。深みどりっぽくなっているのもおどろいた。(峠館 凜さん)

・(陶器) 粘土をロクロの中心に乗せないと、後の工程が少ししづらくなるので、だいぶ大事だと思った。内側をなめし皮できれいにするとき形がくずれるので、そこも気をつけながらするのが難しかった。(1A伊藤龍之介)

・(陶器絵付け) 自分が最初に描こうと思ったのは、ボールとバットだった。しかし、色の種類があまり無かったので線を描いてみた。思ったよりきれいに出来て楽しかった。(齊藤颯良さん)

・(マグカップ) 色と色を混ぜて塗るのが難しかった。色を塗り終わった後のふち塗りが一番難しかった。(鈴木絆愛)



<藍染>



<陶器>



<陶器絵付け(マグカップ)>